

おそきの学校と地域を考える会 平成29年度活動計画

「おそきの未来の青写真を創る事業」が採択される

平成29年度の考える会の主要事業として考える会が青梅市に申請していた「おそきの未来の青写真を創る事業」が採択（承認）されました。事業の概要は以下のとおりです。

1. 事業の目的

＊昨年の青梅市市民提案協働事業「ようこそおそき事業」で行った小曾木地区総合意識アンケートの結果を受けて、小曾木地区で早急に取り組みを開始すべき内容と、未来へ向けて小曾木地区で創っていくべき内容を地域住民とともに主体的に考え、地域住民に提示し、地域の魅力を高めるとともに、住み続ける安心感を高めることを目的とする。

2. 事業の詳細

理想だけでなく現実を直視した上での今後へ向けての小曾木地区の姿を描けるようにしたい。

- 1) 交通の不便さへの対応策の検討（路線バスに乗りする人の減少が進みバス本数の減便につながることを防ぐには）⇒まちづくり推進課との協働
- 2) 小曾木地区の小中学校のあり方の検討（学校児童生徒数減少への対応が急務）⇒教育部との協働
- 3) 空家活用推進事業（小曾木地区の中にモデル地区を作り、空家の持ち主との面会10件を目標に面会し個別の状況を確認を推進する）⇒住宅課との協働
- 4) おそき DE プチ田舎暮らし体験（田植え、田んぼの手入れ、稲刈りまでを一貫とした事業。地域の良いところを内外の多くの人に体験してもらう。地区外からの移住推進を視野に入れての活動）⇒農林課との協働

- 5) おそき DE 恋活（れんかつ）プロジェクト（小曾木地区で出会いの場の設定を行い、地域の良さに触れながら交流を深めてもらう⇒企画政策課との協働
- 6) 楽しめる、安心でき幸せを実感できる自治会活動の推進への協力（自治会館の利用方法や自治会員継続方法などについて地域へ積極的提言）⇒市民活動推進課との協働

以上の内容について、3月末までに終了する事業として実施します。

「おそきだより」の発行は今年度も継続できました

平成29年度の青梅市予算により、従来同様印刷費のみは予算化していただきました。この紙面はみなさんから募集した原稿を、パソコンで一般的に使われているソフト「Microsoft Word」で考える会会員が作成・編集、校正したものを、そのまま印刷しています。今年も年4回発行しますので、みなさんが掲載したい記事を募集します。連絡は、小曾木市民センターまたは考える会事務局までお願いいたします。

従来から実施している活動も継続します

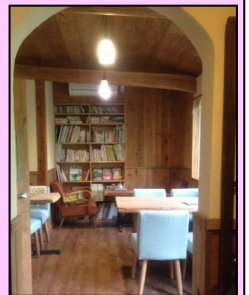
- ・年4回の「考える会」の開催。その時期に合ったテーマでどなたでも参加できる形で意見交換や勉強会を行います。
- ・「おそき一斉メール」、「小曾木地区紹介ホームページ」、「考える会フェイスブック」による地域情報発信も継続します。

今年度も考える会の活動へのご協力をよろしく
お願いいたします！

1面表題脇写真は岩蔵温泉「CAFE YUBA」（喫茶店「ゆば」）からの景色

岩蔵温泉儘多屋の前にある ～小さな喫茶店～ 「CAFE YUBA」は金土日祝の10時～18時営業（11月～2月は17時まで）。地元の焙煎名人ノブユキさんの珈琲豆を使用した岩蔵コーヒーがダントツ一番人気。瑞穂の西村園さんの紅茶「東京紅茶 MIZUHO」も人気です。数種ある手作りケーキでは川鍋養鶏場さんの卵を使用しています！

店内には様々なジャンルの雑誌、書籍、旅行ガイドなど豊富な蔵書があり、お一人様でもゆっくりと楽しめます。七国峠を望む開放感あるテラスでゆったりとしたコーヒータイムをどうぞ！ ～Facebook「CAFE YUBA」始めました～ （今回より地域のお店紹介を掲載します）



編集後記

この「おそきだより」も今号で第20号の発行となりました。丸5年たち、多くの方々のご協力に感謝いたします。そして、6年目のスタートとなります。

毎年同じことの流れのように感じますが、保育園、小学校、中学校での行事もその時の子どもたちの輝いている姿をみることができます。5月に小曾木市民センターにて開催した「小曾木っ子まつり」は、今年で7回目でした。最初の頃に遊びに来てくれていた子どもたちも中学生、高校生となり、昨年あたりからはお

手伝いに来てくれるようになりました。「少しでも役に立てれば」と話してくれ、頼もしい姿をみせてくれます。昨年度に行った「小曾木地区総合意識アンケート」では、高齢者の方のご意見が多くありました。高齢になるとともに交通、買い物の不便さが気になってきます。自治会活動にも不自由な面がでていて感じます。

5年の年月とともに変化していくこの小曾木地区に少しでも優しい暮らしができるよう皆さんと一緒にお手伝いできたらと思います。（若林裕美）